



「おらのために はたらきたい。  
だから ヘルスワーカーになって、  
みんなの けんこうを まもりたい」  
ミンクマリ



ヘルスワーカーになるために学校に通う28期研修生ミンクマリさん



組合をつくり、活動する27期研修生ビショさん



帰国後、村のこどもたちを集め保健衛生の活動をする28期研修生ウルミラさん



29期研修生のパッサンさんとラメシュさん

## 「日本で学んで帰った研修生たちに会いに行こう！」

「おらに きぼうの  
ひかりを ともしたい」  
ウルミラ



「おらじゅうの いえを まわって  
のうぎょうの くみあいを つくったよ」  
ビショ

## 第18回ネパール・スタディツアー

### 帰国後の研修生のフォローアップ

ミンクマリさんはガハテ村の出身で、同じ村には09年度研修生ビショさんが居ます。ビショさんは帰国後、協同組合を立ち上げリーダーとして活動しています。ミンクマリさんは11年8月から実際に助産師になるための学校に通い始めました。また同じく10年度の研修生、ウルミラさんは帰国後SSSという現地NGOにて日本で学んだことを活かして活動しています。

ツアー時には現在日本で研修中の11年度の研修生パッサンさん、ラメシュさんも帰国しています。ぜひ一緒に村を訪ねて、「帰ってからが本番」である研修生の活動を見に行きませんか？保健衛生活動、農業体験・農業協同組合の会合参加など、PHD協会の活動の成果に直接触れることができます。

研修生の家で寝泊りをし、村の食事を食べ、飲み、村の人たちと語り合しましょう。そこにはきっと新しい発見や気づきが待っています！！

【日程】2012年3月23日深夜～4月1日(9泊10日)  
【参加費】既会員 215,000円  
新規会員220,000円 + 会費 5,000円  
(日本国内の交通費、村以外の食費、個人的な費用は含まれておりません。)  
【締切】2012年2月23日(木)  
【事前説明会・勉強会】2012年3月3日(土) 13:00～15:00(予定)

訪問先：ネパール カブレ郡クンタ村、ガハテ村、  
第1期生バラトさんが作った団体サマ・セワ・サムハ (SSS)

- 日程(予定)
- 1日目 夜：関西国際空港集合ー深夜便でバンコクへ
  - 2日目 午前：バンコク→カトマンズへ移動  
午後：野菜市場カリマティ見学
  - 3日目 午前：ナガルコットへ移動 ヒマラヤ見学  
午後：クンタへ移動 現地NGO・SSS訪問
  - 4日目 午前：28期生ウルミラさん(助産師)の活動見学  
午後：ガハテ村へ移動
  - 5日目 午前：帰国研修生の活動見学。農業体験、水場見学等  
午後：27期生ビショさんの活動見学。協同組合の会合に参加
  - 6日目 全日：PHD協会指導者による農業調査及び指導(予定)
  - 7日目 午前：村の小学校にてミンクマリさん、パッサンさんの  
研修報告会  
午後：職員、30期生出発準備。参加者、フリータイム
  - 8日目 午前：参加者、研修生およびSSSとツアー振り返り  
午後：カトマンズへ移動(ナガルコット予備)
  - 9日目 午前：みやげ購入など  
午後：バンコクへ出発
  - 10日目 早朝：関空着



### 出会うPHD研修生

バラト・ピスタさん	(Mr.82年)
ビショさん	(Mr.09年)
ミンクマリさん	(Ms.10年)
ウルミラさん	(Ms.10年)
パッサンさん	(Ms.11年)
ラメシュさん	(Mr.11年)

### 【旅の目的】

- \*村の生活を体験し、村びととの交わりを深める。
- \*日本で学んだPHD研修生の活動現場を訪ね、活動の状況を知り、国際協力、開発のあり方を考える。
- \*旅の経験から、日本との関係を知り、日本の生活を振り返りこれからの自分の行動を考える。
- \*研修生と共に村づくり、農業について考える。

### 【募集人数】

10名(最小催行人員 3名)

### 【参加資格】

当会の趣旨を理解し、旅に適応できる体調の方。  
小学校高学年以上。PHD会員ではない方は、入会手続きをしていただいてから(年会費5000円)ご参加下さい。

### 【旅行企画・実施】

(株)トラベルファイブジャパン(国土交通大臣登録旅行業823号)

### 【企画】(財)PHD協会

\*日本語を話せる帰国研修生たちが通訳をしてくれます。

### PHD協会とは

PHD協会は、ネパールなどで1962年から医療活動に従事した岩村昇医師が自らの経験と反省をふまえ、「物」「金」中心の一時的援助を超えた草の根レベルの人材交流・育成を提唱し、1981年に設立した国際協力の団体です。アジア・南太平洋の村の青年を研修生として日本に招き、農業、裁縫、保健衛生といった内容の研修を行い、帰国後もフォローアップを行うことを通じて、草の根の人々による村づく

りと生活向上に協力しています。今までに、フィリピン、インドネシア、ミャンマーなど11カ国から約260名の草の根の人々を受け入れてきました。日本の人々もアジア・南太平洋の人々との交流を通して学ぶことはたくさんあります。そこから、毎日の生活を問い直し、草の根の人々と共に生きることのできる生活を、足元から実践するための活動を続けています。

詳しいパンフレット・  
申込み用紙をお送りします。

公益財団法人 PHD協会  
〒650-0022 神戸市中央区元町通5-4-3 元町アーバンライフ202  
電話：078-351-4892 FAX：078-351-4867  
Email：info@phd-kobe.org URL：http://www.phd-kobe.org